

■発行／南方熊楠顕彰会

〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町36番地 TEL 0739-26-9909 FAX 0739-26-9913  
http://www.minakata.org/ 〈E-mail〉 minakata@mb.aikis.or.jp

自筆資料に見る南方熊楠……………⑥

## 神島樹木分布図

文／岩崎 仁(南方熊楠顕彰会理事・京都工芸繊維大学准教授)

熊楠の自然保護の実践的な活動として、1910年頃をピークとする「神社祀反対運動」と、晩年の「神島の天然記念物指定運動」の二つを上げることができる。この図は「神島樹木分布図」で、「和歌山縣田邊灣内神島を史蹟名勝天然記念物保護區に指定申請書」の提出の際に添えられた「神島現存顕著樹木所在圖」と同じものと考えられる。当時、神島に生えていた樹木が、極めて細かい字でその種名を示されて、一本一本書き込まれている。神島の保護に対する熊楠の思い入れのほどがうかがえる。

1902年6月1日、和歌山から那智へ戻る途中に田辺の街へ立ち寄った熊楠は、船で神島(この日の日記には「鹿島」とある)へと渡った。宿酔でふらつき、満身に植物も取れなかったと日記にあるが、これが神島への初上陸である。ちょうど27年後の昭和4年6月1日、熊楠は生涯で最も輝く瞬間を神島で迎えた。戦艦「長門」艦上でのご進講に先立つ昭和天皇の神島植物調査である。ご進講直前の5月25日から6月1日にかけて「紀州田邊灣の生物」と題する熊楠の随筆が大阪毎日新聞に連載された。第1回の冒頭で「田邊灣内で目ぼしい処は、何といたっても神島だ」と熊楠は断言し、神島でもっとも名高い植物として彎珠(ハカマカズラ)、その他、キシウスゲ、バクチノキ、タブノキなどを紹介している。これらの豊かな植物群を守るために神島の天然記念物指定を目指した熊楠は、5年後の昭和9(1934)年11月5日、キノコ四天王と呼ばれた地元研究者、樫山嘉一らとともに、植物精密調査のために神島へ渡った。この時の様子を、二日後の同紙が「田邊灣の神秘境—神島の植物調査に乗り出した南方翁 天然記念物指定準備」として報じた。

おやま、こやまを測量し、樹木の種名と本数、それらの位置を精密に調査してできあがったのがこの図で、上に描かれたおやまのそここにタブ(タブノキ)、右上方にバクチノキが書き込まれ、中央やや下にワンシュウを見つけることができる。タブノキは、暖帯の海岸付近の代表的な樹種であるが、この時の調査で39本(図ではおやまに35本、こやまに1本)とされたタブノキは、およそ50年後の調査では、わずか4本しか確認できなかったという。さらに時が流れて熊楠の調査から75年を経た現在、再度の神島現地調査が近々実施される予定である。

※おやま(上)とこやま(下)の位置関係は実際とは異なる



## CONTENTS

第20回南方熊楠賞 受賞者決まる	… 2
第7回南方熊楠ゼミナール	… 3
基調講演 中村敦夫	… 4
研究発表① 武内善信	…10
研究発表② 横山茂雄	…14
研究発表③ 奥山直司	…18
熊楠をもっと知ろう! 講演会 坂口總之輔	…23
熊楠をもっと知ろう! 講演会 土永知子	…27
南方熊楠の湯⑩ 安田忠典	…32
ロンドン滞在記 第二回 松居竜五	…36
南方熊楠と牧野富太郎(中篇) 田村義也	…38
書簡の杜(二) 岸本昌也	…40
新刊紹介	…42
「熊楠」生物覚え書⑩ 土永知子	…43
南方熊楠の伝記を正す(一) 中瀬吾爾	…44
南方熊楠研究奨励事業 平成22年度募集!	…46
和市博を見て 瀧岸宏一	…47